

# 「大竹の伝統と心を伝えよう」

## ～大竹和紙を未来へつなごうプロジェクト～

課題発見・解決能力，主体性

1 日 時 令和5年10月27日（金）2校時

2 学 級 第6学年1組（男子19名，女子17名 計36名）

3 単元設定の理由

### （1）単元観

小学校学習指導要領〔総合的な学習の時間〕では，目標が次のように示されている。探究的な見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，よりよく課題を解決し，自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- ② 実社会や実生活の中から問いを見だし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。
- ③ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

大竹地域には，「おおたけ手すき和紙」や，その和紙を使った「紙太鼓」，「鯉のぼり」，「ひな流し」などの伝統が今も残されている。「おおたけ手すき和紙（以下「大竹和紙」）は，江戸時代初期に製法が伝わったとされ，四百年以上の歴史が受け継がれてきた地域であることが分かる。そこで，本学年の探究課題を「大竹の伝統」とし，単元を設定した。大竹和紙は，長い歴史があり，原料となる植物を大竹産のものだけを使用するなど，魅力も多い。しかし，担い手不足や生産をボランティアのみで行うなど，課題面もある。そこで，大竹和紙の魅力や伝統を受け継いできた人々の思いに気付かせ，さらに自分たちにできることを考える活動につなげていくことで，本校の育てたい資質能力である「課題発見・解決能力」「主体性」を育てることができると思う。大竹和紙の伝統を受け継ぐ地域の一員として自己の生き方を考えることにつなげていくことを目指し，本単元のテーマを「大竹の伝統と心を伝えよう」と設定した。

### （2）児童観

本学級の児童は，1学期に，大竹の魅力ある伝統・文化について自分が関心をもったテーマごとにインターネットなどを使って調べ学習に取り組み，分かったことをポスターにまとめた。これらの学習を通して，自分たちの住む地域の良さを再認識することができた。児童アンケートでは，次のような結果が得られた。

大竹の伝統や大竹和紙に関する児童アンケート (6年1組 34人)

	はい	いいえ
1学期の学習を通して大竹の伝統に対する興味・関心が高まった。	100%	0%
大竹和紙のことを知っている。	70%	30%
大竹和紙の実物を見たことがある。	55%	45%
大竹和紙を実際に作ったことがある。	29%	71%

この結果から、1学期の学習を通して、大竹の伝統に関する興味・関心が高まっていることが分かった。また、「大竹の伝統といえは何を思い浮かべるか。(複数回答可)」という問いに対して、79%の児童が「和紙」「大竹和紙」を挙げており、大竹和紙が大竹で古くから受け継がれているものであるというイメージをもっていることが分かる。しかし、実際に大竹和紙を見たり、手すき体験をしたりしたことがある児童はあまり多くない。また、大竹和紙について「手間をかけて作っている。」「高級」「丈夫」等のイメージをもっている児童はいるが、「担い手不足」や「ボランティアで成り立っている」等の抱えている課題について理解している児童は8%と少ない。日常生活の中で、実際に伝統に関する知識を高め、伝統を受け継いできた人やものと触れ合う経験は乏しいと言える。

(3) 指導観

本単元では、大竹の伝統の中から、「大竹和紙」に絞って学習を進めていく。大竹和紙の魅力や課題、それに携わる方の思いや願いから、自分たちにできることを考え、実行させる。指導に当たっては、次の点に留意する。

①PBL(※)の考え方をういた課題発見・解決学習

単元全体を通して、「大竹和紙のために自分たちができることは何か。」という大きな課題を設定し、考え、計画し、実行していく。大竹和紙の課題から、「大竹和紙をたくさんの人に知ってもらうために何ができるか。」「大竹和紙がもっとたくさんの人に手にとってもらえるようにするために何ができるか。」の2つの課題を柱として解決していく。大竹和紙のために自分たちが考え、発信や提案することで大竹和紙の伝統を受け継ぐ地域の一員である自覚をもって、自己の生き方を考えることができるようにする。

※PBL(プロジェクト型学習)…ひとつの解が存在しない発展性のあるプロジェクトを扱う学習。

②思考ツールの活用

新しいアイデアを出したり様々な意見を整理したりするなど、児童が思考し考えを深める場面では、思考ツールを活用することで児童が主体的・協働的に学ぶことが出来るようにする。単元の導入場面で、大竹和紙に対するイメージを広げる場面ではウェビング、整理・分析の場面ではピラミッドチャートを活用するなど、場面に応じて効果的に活用する。

③リフレクションの活用

学習したことや活動内容をその都度振り返り、自分のできたことや難しかったこと、課題解決のために必要なことを考え、次の学びにつなげていく。また、児童が振り返りを書き溜めていくことで、自分の考えの変容や大竹和紙に対する思いなどを実感できるようにしていく。

④ルーブリック評価の活用

評価に関しては伝統を受け継いできた人々の思いや願いに気付き、それらをつないでいくために自分たちにできることを考えているかどうかを見取っていく。それぞれの評価規準にルーブリック評価を作成し、指導と評価の一体化を図る。また、授業の際にはルーブリック評価の基準を児童と共有することで、児童は目指す姿が分かり、何をすべきかが明確になる。さらに、自分の学びをルーブリック評価基準と照らし合わせ、自己評価することにより、次時の活動意欲につながるようにする。

⑤ファシリテーション

単元全体を通して、児童が大竹和紙のためにできることを自分事として捉え、主体的に探究できるようにするために、教師はファシリテーターの役割に徹するようにする。探究のプロセスを児童と共有することで、「次の学習ではこんなことをしたい。」「ゴールに向かうためには、このような活動が必要だ。」と児童自ら学習計画を立てることができるようにする。

4 単元の目標

大竹和紙について調べたり、大竹和紙の課題解決のために取り組んだりすることを通して、大竹和紙の魅力や課題、それに携わる人々の願いを理解し、大竹和紙の課題を解決するために自分たちにできることを考えるとともに、自らの生活に生かすことができるようにする。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①大竹和紙のよさや課題，それに携わる人々の思いや願いを理解している。	①大竹和紙について，現状を知り，課題を設定し，解決に向けて自分にできることを考えている。	①自分と異なる意見や考えを生かしながら，自分の設定した課題の解決に向けて取り組もうとしている。
②目的を明らかにし，場面状況に応じて，適切に情報を集め，まとめている。	②目的に応じて，必要な情報を収集している。	②大竹和紙の課題に対して，協働的に探究活動に取り組もうとしている。
③「大竹の伝統を大切にしていきたい」という意識の高まりは，地域の人・もの・ことと関わりながら探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。	③課題の解決に必要な情報を，視点に沿って取捨選択したり，比較・関係付けたりして解決に向けて考えている。	③自分と大竹の人々等とのつながりに気付き，大竹に誇りを持ち，大竹のためにできることを考え行動しようとしている。
	④大竹和紙について，相手や目的に応じて，効果的な方法を考え，まとめている。	

6 単元のルーブリック

知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
①	A	①	A	①	A
	大竹和紙の歴史や伝統を守る人々の思いを理解し，自分たちに求められている願いが分かる。		大竹和紙の現状と課題を捉え，課題を設定し，大竹和紙の課題を解決するために自分にできることを考えている。		これまでに学習したことを踏まえて，大竹和紙のために自分たちにできることを，自分と異なる意見や考えを生かしながら，取り組もうとしている。

	B	大竹和紙の歴史や伝統を守る人々の思いを理解している。		B	大竹和紙の現状と課題を捉え、課題を設定し、解決に向けて自分にできることを考えている。		B	大竹和紙のために自分たちにできることを、自分と異なる意見や考えを生かしながら、取り組もうとしている。
②	A	自分たちの考えを提案するために、消費者や手すき和紙保存会の方の思いを踏まえて情報を集め、まとめることができる。	②	A	大竹和紙を使った商品を考えるために、必要な情報を集める方法を選択して、情報収集している。	②	A	大竹和紙を広く伝える思のために、自分や友だちのよさを生かしながら、協働して探究活動に取り組もうとしている。
	B	自分たちの考えを提案するために、消費者の思いを踏まえて情報を集め、まとめることができる。		B	大竹和紙を使った商品を考えるために、必要な情報を集め、整理している。		B	大竹和紙を広く伝える思のために、協働して探究活動に取り組もうとしている。
③	A	「大竹の伝統を大切にしたい」という意識の高まりは大竹和紙に携わる人・もの・ことと関わりながら。探究的に学習してきたことの成果であると気付き、今後の学習や生活に活かしたいという思いをもっている。	③	A	大竹和紙の魅力を伝えるための内容について、これまでの学習や友だちの意見を参考にして根拠をもって考えている。 <b>大竹和紙の商品案を選ぶ基準について既習事項や友だちの考えを参考にして根拠をもって考えたり、その基準で商品案を選んだりしている。(本時)</b>	③	A	学習活動を振り返り、自分と地域とのつながりについて気付き、さらに大竹和紙の課題解決のためにできることを考え行動しようとしている。
	B	「大竹の伝統を大切にしたい」という意識の高まりは大竹和紙に携わる人・もの・ことと関わりながら。探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。		B	大竹和紙の魅力を伝えるための内容について考えている。 <b>大竹和紙の商品案を選ぶ基準を考えたり、その基準で商品案を選んだりしている。(本時)</b>		B	学習活動を振り返り、自分と地域とのつながりについて気付き、さらにできることを考え行動しようとしている。
			④	A	大竹和紙の魅力と自分の思いが伝わるよう工夫して表現したりまとめたりしている。			
				B	大竹和紙の魅力が伝わるよう工夫して表現したりまとめたりしている。			

7 単元の全体計画（全 45 時間）

次	学習内容	評価			
		知・技	思判表	主体的	評価方法
1	<課題の設定①> ○大竹の伝統の中から，探究課題を設定する。 (2)		①		・発言・ワークシート
2	<情報の収集①→課題設定②> ○和紙の手すき体験をしたり，ゲストティーチャー（おおたけ手すき和紙保存会の方）のお話を聞いたりし，大竹和紙の歴史や，伝統を守る人々の思いを知り，自分たちにできることを考える。(4)	①			・ワークシート・リフレクションシート
3	<整理・分析①> ○大竹和紙の魅力を伝えるための方法を考え，内容を精選することができる。(2)		③		・発言・ワークシート・リフレクションシート
4	<まとめ・表現①> ○班で考えた案を整理し，まとめる。(4)			①	・発言・ワークシート・リフレクションシート
5	<振り返り①→課題の設定③> ○大竹和紙を PR するものの作成について振り返り，さらに自分たちにできることを考える。 (2)			③	・リフレクションシート
6	<情報の収集②> ○大竹和紙を使った商品を考えるために，どのような物に大竹和紙が使えるか調べる。(2)		②		・ワークシート・リフレクションシート
7	<整理・分析②> ○大竹和紙を使った商品案を考える。(2)			①	・発言・ワークシート・リフレクションシート
	<b>○大竹和紙を使った商品案を選ぶ基準を考える。(2) 本時(1/2)</b> ○大竹和紙を使った商品案を選ぶ。(2)		③		・ワークシート・リフレクションシート
8	<情報の収集③> ○ゲストティーチャー（大竹市青少年育成市民会議）の方の話を聞いたり，自分たちで紙太鼓の作成をしたりして，大竹和紙の伝統を守る方の思いや願いを知る。(2)	①			・ワークシート・リフレクションシート
9	<整理・分析③→まとめ・表現②> ○紙太鼓演奏の練習し，発表する。(5)			②	・リフレクションシート

10	<p>&lt;振り返り②→課題の設定④&gt;</p> <p>○今までの学習（紙すき体験，PR するものの作成，商品開発，紙太鼓演奏など）を通して，感じた和紙の魅力や課題，気付いたことを振り返り，大竹和紙の伝統を守っていくために自分たちができることを考える。（1）</p>		③	・発言・リフレクションシート
11	<p>&lt;まとめ・表現③&gt;</p> <p>○ゲストティーチャー（おおたけ手すき和紙保存会の方）に自分たちの考えた商品を提案するための準備をする。（11）</p>	②		・リフレクションシート
	<p>○ゲストティーチャー（おおたけ手すき和紙保存会の方）に自分たちの考えた商品を提案する（2）</p>		④	・リフレクションシート
12	<p>&lt;振り返り③&gt;</p> <p>○自分たちの活動が大竹の伝統を守るために役に立てたか振り返る。（2）</p>	③		・リフレクションシート

#### 8 単元において育成しようとする資質能力とのかかわり

資質・能力	目指す児童像
課題発見・解決能力	大竹和紙について調べることを通して，大竹和紙の課題を見つけ，課題解決に向けて必要な情報を収集・整理し，大竹の伝統を継承するために自分ができることを考え，実行することができる。
主体性	大竹の伝統を守り，受け継いできた人々の思いを知ることを通して，自分と地域の人々のつながりに気付き，大竹のまちづくりの一員である自覚をもって，自己の生き方を考えることができる。

#### 9 本時の展開

##### (1) 本時の目標

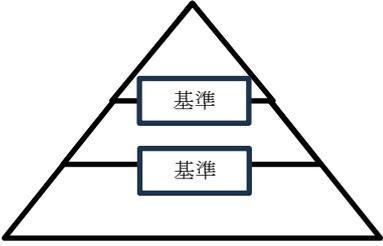
自分たちで考えた大竹和紙を使った商品案を選ぶ基準を考えることができる。

##### (2) 準備物

リフレクションシート，ピラミッドチャート，タブレット，モニター，記入用紙

##### (3) 展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意事項	【観点】評価規準（方法）
	T：主な発問・指示 C：予想される児童の反応	○指導上の留意事項 ▲支援を要する児童への手立て	
	1. 前時の振り返りをする。 C：うちわや包装紙，カレンダーなどたくさんの商品を考えることができた。 C：考えた商品で，たくさんの人におおたけ手すき和紙を手にとってもらいたい。	○前時の振り返りを紹介することで，前時までの学習の流れを確認する。	

<p>見 通 し を も つ</p> <p>自 分 の 考 え を も つ</p> <p>考 え を 交 流 す る</p> <p>振 り 返 る</p>	<p>2. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>㊦ みんなが喜ぶ商品を選ぶ基準を考えることができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ループリック (思・判・表③)        児童との評価の共有        A: (+) 学んできたことや友達の見        意見を参考に、理由付けている。        B: 選ぶ基準を考える。</p> </div> <p>3. 商品を選ぶために必要な基準を考        える。 (個人→班)        T: どのような基準がよいと思いま        すか。        C: かわいいものを選びたいです。か        わいいと手にとってもらえるからで        す。        C: 大竹和紙の良いところが伝わる        かどうかで選んだらいいと思いま        す。</p> <p>4. 全体で交流する。        T: どの基準で選ばれた商品だっ        たらみんなが喜ぶと思いますか。        C: 大竹和紙のよさが伝わるという        基準が大切だと思います。和紙保存        会の方は多くの方によさが伝わっ        てほしいと思っているからです。</p> <p>5. 振り返りをする。        C: 私は、「大竹和紙のよさが伝わ        る。」という基準がいいと思いまし</p>	<p>○提案できる商品は、限られている        ことを伝え、本時のめあてにつな        げる。</p> <p>○ピラミッドチャートでしぼりこ        むための基準を考えることを確        認する。</p> <p>○みんなとは、「大竹和紙保存会の        人」、「買う人」であることを確        認する。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p>○「何のために商品を考えているの        か」「考えた商品がどうなってほ        しいか」などと問い、基準を考え        られるようにする。</p> <p>▲自分で基準を考えられない児童        には、考えた商品がどうなってほ        しいかを言葉で表現することで        基準を考えられるようにする。</p> <p>○理由を大切に話し合うよう        にする。</p> <p>○班で考えた基準を、紙に書き全体        で考えを共有できるようにする。</p> <p>○似ている基準は近くに移動させ        てまとめるなどして、考えを整理        する。</p> <p>○質問したり、理由を聞いたりする        ことで、基準を選ぶ上で大切にし        た思いに気付くことができるよ        うにする。</p> <p>○基準について、考えたことや話し        合いを通して感じたこと、考えの        変容などについて振り返るよう</p>	<p>【思・判・表③】        課題の解決に必要な        情報を、視点に沿って        取捨選択したり、比較・        関係付けたりして解決        に向けて考えている。</p>
---	---	--	---

<p>た。この基準で選んだら、大竹和紙のよさが伝わって保存会の人々が喜ぶと思うからです。</p> <p>C: 友達の意見を聞いて、考えが変わりました。おおたけ手すき和紙保存会の人々のため選ぶことが大切だと思いました。</p> <p>C: 次は考えた基準で商品案を選んでみたいです。</p>	<p>にする。</p>	<p>評価【思・判・表③】</p> <p>A: 大竹和紙の商品案を選ぶ基準について既習事項や友だちの考えを参考にして根拠をもって考えたり、その基準で商品案を選んだりしている。</p> <p>B: 大竹和紙の商品案を選ぶ基準を考えたり、その基準で商品案を選んだりしている。</p> <p>(ワークシート・リフレクションシート)</p>
--	-------------	--

(4) 板書計画

④ みんなが喜ぶ商品を選ぶ基準を考えることができる。

A (+): 学んできたことや友だちの意見を参考に、根拠をもって考えている。

B: 基準を考える。

みんな…保存会の人  
買う人

大竹和紙のよさが伝わる

手に取りたくなる

広島・大竹ならではの